

## ご案内

2015年12月2日

### 産業社会学部創設50周年記念学術企画 シンポジウム・パネルセッション 「日韓の高等教育におけるメディア教学の課題とこれから」

日韓両国におけるメディア教育はどのように展開されているのだろうか。大きく変容をとげるメディア環境の中で、大学のメディア教育はどのような課題に直面しているのか。

シンポジウムでは、2012年度末に学術交流協定を締結し、日韓メディア比較インターナショナル・メディアキャンプなどを通じ、実質的な学生交流を継続している立命館大学産業社会学部と韓国・西江大学コミュニケーション学部のメディア教育担当教員が一同に会し、新聞ジャーナリズム、広告、放送、コミュニティメディアなど、それぞれの教育担当専門分野から、どのような授業を展開し、そこにどのような工夫をこらしているのかについて報告する。

その後、討論ワークショップ形式で、両大学の教員を交えたパネルセッションを行い、大きく変化するメディア教育の実践が置かれている状況をどのようにとらえ、自らの教育実践を展開しようとしているのかについて議論を行う。

発表者：立命館大学産業社会学部メディア社会専攻

柳澤伸司（メディア社会専攻長・新聞ジャーナリズム）／増田幸子（映像表現論）／小泉秀昭（広告論）／坂田謙司（メディア制作）／金山勉（コミュニケーション政策論）

西江大学コミュニケーション学部

Kim, Yong-soo(学部長・Performance, Video Communication)／Won, Yong-jin (Broadcasting)／Shin, Ho-chang(Public relations, Advertising)／Kim, Kyun (Journalism, Newspaper History)／Lim, Jong-seop(Online Journalism and Mass Communication)

会場：立命館大学（衣笠キャンパス）以学館 2号ホール

日程：2016年1月15日（金）

午前10時30分～午後12時30分

シンポジウム：日韓の大学メディア教育の実践報告（全教員報告）

午後1時～午後2時30分

パネルセッション：日韓メディア教学の課題とこれから

（＊日本語・朝鮮語 逐次通訳あり）

主催：立命館大学 産業社会学部

本企画のシンポジウム・パネルセッションを通じて、日韓のメディア教育機関の教員が、日々の教育実践でどのような共通した、また異なる課題を抱えているのかを考えます。両大学のメディア教員による報告・議論は、最先端のメディア教育実践や、社会とメディアとの関係がどのように大学教育に反映されているかについての新たな視点を呈示するものとして、メディア教育に関わる教員、大学院生、さらに学部生たちにとっても興味深い知見を与えてくれるものです。産業社会学部創設 50 周年にあたり、グローバル社会におけるメディア教育にかかわる将来を展望する意味でも興味深いシンポジウム・パネルセッションであり、メディア教育に関わる研究者の皆様の参加をお待ちしています。

日本マス・コミュニケーション学会会員の方で参加ご希望の方は、予め下記までご連絡いただければ幸いです。

金山勉 [kanayama@fc.ritsumei.ac.jp](mailto:kanayama@fc.ritsumei.ac.jp) / 柳澤伸司 [syt01970@ss.ritsumei.ac.jp](mailto:syt01970@ss.ritsumei.ac.jp)